

くまもと障害者労働センター通信
1990, 8.8発行
熊本市保田窪本町94
TEL 096-382-0861

(東京・ひと・り・旅)

牛乳パック再利用を考える全国大会（東京大会）の報告

倉田哲也

去る7月28・29日に東京都内にて「牛乳パック再利用を考える全国大会」が開かれました。労働センターからは私一人参加しました。まず7月27日夜の高速バスで名古屋まで行き、28日の朝、名古屋について、前もって中日新聞の人に連絡していたのでバス停まで迎えに来てもらい一緒に新幹線で東京まで行きました。（中日新聞の人とは牛乳パック再利用を考える熊本大会の時知り合いました）お昼から開会でした。会場には全国からの牛乳パック再利用を考える人や、リサイクル運動をやっている団体・地元行政・製紙会社など昨年を越える人が集まりました。牛乳パックで作ったハガキや小物入れなどが展示してありました。全体会の中で名古屋からの報告があり、名古屋市の各区役所に牛乳パック回収箱を設置したということです。名古屋市は全国でも以前からゴミ問題には力を入れているので全国でも初めての試みだそうです。中にはリサイクル活動をしている所では障害者とやっている団体もありました。ただ報告の中でリサイクル運動と言えば障害者と出来るとか障害者のためになるとか言う意見もありました。私は思わず障害者はゴミ処理をやっているわけではない、あくまでも環境破壊を少しでも無くす運動として牛乳パック回収をやっているんだと言いたくなりました。日本は森林が豊かだと言われていますが、牛乳パックを作るために年間何万本もの森林の木を外国から輸入している、木が無くなったら又植えればいいと言う人もいますが、7月初めに九州地方に降った大雨で被害の多かった大分の竹田市では山から大量の木が流されて川をせき止めてしまっただけで川が氾濫してしまったのです。何故山から大量の木が流されてしまった、それは全部の木を一回切ってしまう、その上から植えた木だったそうです。そのことを全体会の時に言いたかったのですが、時間がなかったのが途中で切られてしまいました。私は言語障害があるので、しゃべるのに時間がかかるのでもう少ししゃべらせてくれと言ったが、時

間がかかるなら分科会で意見を言えと言われました。司会者の立場もわかりますがせっかく障害者と共に牛乳パック運動をやっているのだからもう少し障害者に理解があってもいいと思いました。

(それとこれとは別なんでしょうかねー)

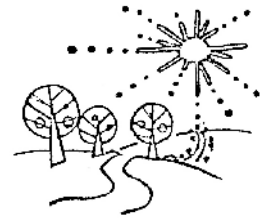
それで全大会が終わってその日は千葉の友達の家泊まりました。

次の日29日は分科会があり、私は「環境問題と教育と福祉」の分科会に参加しました。いろんな所からの活動報告があり意見も多く、もちろん私も前の日に発言できなかった分は利子を付けて言いました。

分科会はお昼までだったので、お昼から「なまずの家」(障害者の作業所)の人に東京見物につれて行ってもらいました。

まず赤坂御所の回りを回って、次に東京ドームに行き、都市対抗野球があつてました。それから東京大学に行き、最後に東京タワーに行き、東京の夜景を見ました。その日は、なまずの家に泊まり、次の日には一人で東京を回り、夕方新幹線で京都に行きビジネスホテルに泊まり次の日に阪急電車に乗り大阪に行き、りぼん社の人8月23日に熊本にこられるので、打合せにいきました。そして、その日大阪から夜行の高速バスで熊本に帰りました。都会は人と階段が多かったので疲れしました。

お知らせコーナー



① 交流会のお知らせ

来る8月23日にりぼん社から熊本に来られます。そよ風のように街に出ようの編集者の人とスエーデンの福祉を見学に行かれた方4人ほどで来られます。

期日 8月23日(木)

時間 PM7:00

場所 通り町寿里庵(大劇ビル2階)

会費 一人2000円

ぜひ参加される方は8月18日までに、労働センターへ連絡ください。

② お盆休みのお知らせ

8月11日～8月15日まで
休みです

③ 会計より

7月末付で、請求書を送らせていただきましたので、ご確認の上、何卒よろしくおねがい致します。

ご不明の点かございましたら、センターまで、お問合せください。